

大会開催時の運営における注意事項

- ・まずは政府や各都道府県自治体のガイドラインの沿いながら、それに準じた規模で新型コロナウイルス感染症拡大前の通常の大会に戻す為に段階的な大会を開催していく。
- ・通常の大会に向けて、試験大会の情報を各自治体などで共有化する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を主催者側・選手側、双方が周知徹底できる大会運営方式の決定。
- ・新型コロナウイルス感染者が出た場合の追跡調査が出来るように名簿の管理と検温と健康チェックを必ず行う。
- ・主催者は、アルコール消毒液などの備品の準備、それらを配置する場所、またソーシャルディスタンスを保った待機所や観覧席の配置などを考え、安全に務める。

● 段階的な大会を開催していく詳細について

【主催者側】

①大会集客人数

- ・200人未満の分散大会
- ・300人未満の分散大会
- ・400人未満の分散大会
- ・新しいモデルの通常大会

②分散大会とは

- ・参加者を午前・午後と分散し、タイムテーブルを作成、大会を実施
- ・1時間に収容できる人数（運営・選手・試合の待機者を含めて50名未満）

政府や各都道府県自治体のガイドラインに沿った試験的な大会を段階的に実施します。（集客数の制限、ソーシャルディスタンスの制限など）大会終了後の最終調査結果などを踏まえ、新しいモデルの通常大会というものを考えてく。それには各主催団体などで情報を共有することが大切である。

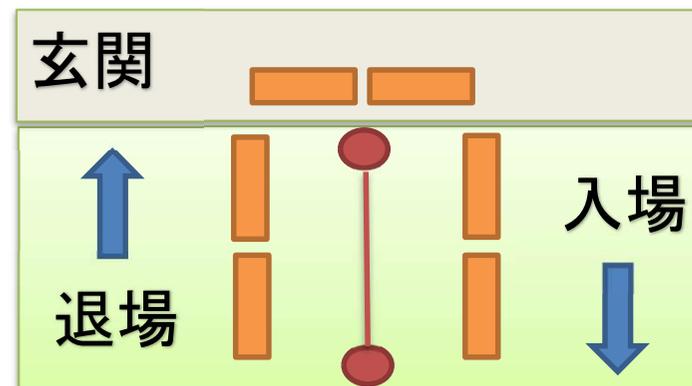
【大会要項の作成】

- ◇ 大会要項・大会プログラム競技規則とは別に、新型コロナウイルス感染症対策の注意事項を掲載する
- ◇ 追跡調査依頼の記載大会規模を徐々に大きくしていく為の協力要請所の作成。※2週間後、運営側から代表者に連絡（メールにて）
- ◇ 大会終了後、2週間の間に感染者が発覚した場合、感染経路を追跡調査する必要がある、その趣旨の掲載とその為の個人情報使用の同意を得る文の掲載。その際、個人情報の保護は非常に重要になる為、管理者の2名とし、確認後は削除を確約する。（大会終了後、1か月程度は厳重に保管する）

【大会の注意事項】

- ◇ 当面の間、特例として審判は勝者審判制とし、主審をおかず対角線で線審2名のみで行う。（会場内人数の削減）
- ◇ 入退場の導線を作成し、ソーシャルディスタンスを確保する。
- ◇ タイムテーブル試合開始1時間前に入場、敗退後速やかに退出。
- ◇ 参加者の出したゴミから感染が発生する可能性がある。当面の間、ゴミは各自持ち帰りを徹底する。（飲み残しも所定の場所以外廃棄禁止にする）
- ◇ 当面の間、選手や関係者以外の入場は禁止。
- ◇ 大きな声の発生禁止集団感染・飛沫感染抑止。
- ◇ 主催者は必ずインターバルを設定。インターバル時に消毒の徹底。
- ◇ 身体接触の禁止
- ◇ 身体接触を最小限にとどめる為に握手、ハイタッチ、抱き合うなどは禁止。
- ◇ 会場の換気
プレーに支障の無い窓は常に開けておく。2時間に1回、最低15分の換気をする。
あらかじめ昼休みなどを設け、出来るだけ換気に努める。換気扇は常に稼働させる。

検温・消毒
受付・プログラム配布
入退場確認



【大会準備と終了時の注意点】

- ◇ 受付
総合受付とコート受付の準備受付を分散することで、集団感染を回避できる。
- ◇ 受付設定時の注意点
簡易型のビニールカーテンの設置とアルコール消毒液の設置。
- ◇ 入退場や人の導線をコントロールする屋内外案内板の設置。
- ◇ 主催者側は手袋を着用し、新しいシャトルの受け渡しや、使い古しシャトルを収容する際の感染予防を徹底する。

【コート設営と収納】

- ◇ 必要最低人数（1コート2名）で設営・収納
- ◇ モップやコート設営の際は、出来るだけ使い捨てビニール手袋を着用して行う。
- ◇ 設営/収納後は、支柱と設営者の消毒
- ◇ モップ掛けは2mの間隔を開けて行い、終了時には用具と使用者の消毒。
- ◇ タオルを床に置かないようにコートサイドカゴを設定
感染予防からの観点から、カゴを使用する際はビニール袋などに入れて使用してもらう。（受付時に主催者はビニール袋を配布するなどする）

【大会アナウンス】

- ◇ 会場全体に試合の進行情報が確認できる情報案内板の設置
進行具合が目で見えてわかるものを準備することによって人の移動を制限できる。
また、複数の人間でマイクを使い回すと飛沫感染の恐れもあるのでマイク使用の際はマスクを着用したまま使用する。

【大会運営中の注意点】

- ◇ 審判用紙やボールペンの取り扱い（こまめに消毒）
- ◇ 入退場時のソーシャルディスタンスの告知
- ◇ 用具の貸し借りの禁止
- ◇ 当面の間、シャワーや更衣室の使用禁止。（使用する際は、人数制限とソーシャルディスタンスを保つ）
- ◇ 試合中もしくは待機中に於て、具合が悪くなった時の隔離場所の設置。

※支柱と設営者の消毒



大会運営につきましては、あくまで政府や所属する都道府県自治体のガイドラインの沿って、十分な新型コロナウイルス感染症対策のもと、段階的に行って下さい。記述したことが全てではありません。感染症対策は日々流動的です。大会が開催される時に一番安全な方法を主催者は考える必要があります。

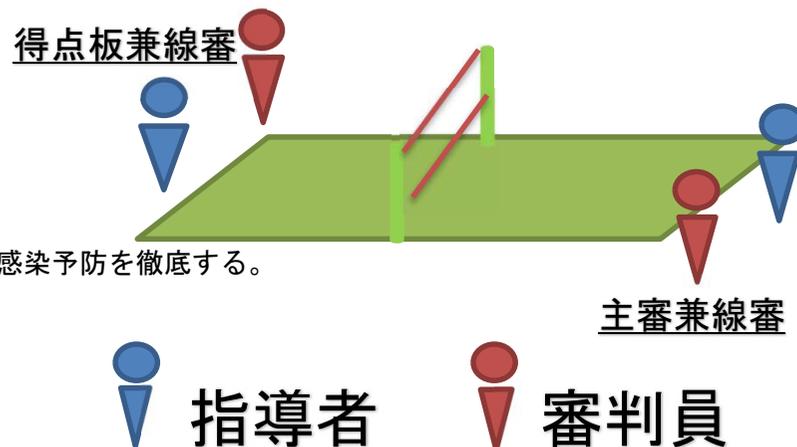
大事なのは主催者も参加者も安全にバドミントンが楽しめることです。そこを常に頭に入れて今の時代に合った大会方法をみんなで考えて行きましょう。

- 大会実施におけるガイドラインを策定しました。感染リスクを限りなくゼロにさせるため、ご理解をいただき、大会運営にご協力をお願いいたします。
- 選手ファーストの考えから、監督・コーチ以外の入場禁止等の入場の制限や観客席の指定等、大会に応じた措置を講ずる場合があります。ご理解をお願いいたします。

石川県ジュニアバドミントン連盟

理事長 長丸 茂人

【例】



マスク着用・手指消毒に
ご協力ください



ジュニア連盟の大会を開催するにあたり

2020.06.27

日頃の練習等、新型コロナ感染拡大防止に向けてご尽力賜りまして誠に有難うございます
大会を開催するあたり厳守して欲しいことを明記致します

先ず、第一に選手ファーストをお考え下さい

本来なら、保護者送迎のみで開催を検討してましたが子供の管理上、厳しくなりますので選手1名に対して保護者1名の入場を認める事としました 但し、3密対策を踏まえ大会を分散(午前、午後)して行いますのでご協力お願い致します

《以下の項目を厳守》

1. 体温測定表(連絡先)の提出

- ①体温測定表を申込先メールに責任者、指導者、選手、保護者の名前、連絡先を入力して大会3日前までに送る
- ②当日、同様の用紙を提出、変更があった場合は速やかに連絡する
- ③当日検温、揃ったチームから表の順に検温を行う 地区担当が検温を行い、責任者が体温と入り時間を記入する
※明記していない方の入場は認めません、違反にならないようにして下さい (37.5℃以上は入場不可)
- ◇大会終了後、2週間の間に感染者が発覚した場合、感染経路を追跡調査する必要があり、その趣旨の掲載とその為の個人情報使用の同意を得る文の掲載 其の際、個人情報の保護は非常に重要になる為、管理者の2名とし、確認後は削除を確約する。(大会終了後、1か月程度は厳重に保管する)
- ◇下駄箱の利用を禁止する(各自ビニール袋で自己管理等を行う)

指導者制限	
10名以下	2名可
20名以下	3名可
30名以上	4名可

2. 選出1名に保護者1名

- ①試合のコールで選手、保護者はコートへ(保護者は進行、消毒、審判等)
- ②予選リーグはリーグ内審判で行います、保護者の方は交代で行ってください(リーグ内で調整をお願いします)
- ※各コートの構成はリーグ内選手と保護者2名とします
- ③直接対決・決勝トーナメントは相互審判になります

3. 観覧席では待機のみ

- ◇3密にならないように席を空けて座る(団体席指定)隣同士で座らない
- ◇声をだしての応援は行わない、座って拍手のみとする

4. ゲームに入る選手以外はマスク着用(フェイスシールド)

※コートサイドにラケットバックを持ち込み可します

5. 各コート終了時消毒を行う

◇コートに席や得点板やカゴは準備しない

6. 2時間1回(15分)の換気をして下さい

◇こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

地区で感染防止のために決めたその他の措置の遵守、指示に従うこと



座席図

